

1. 事業説明シート

| 事業名 | 道路事業<br>[緊急道路整備改築事業 (国補)] | 事業箇所 | 南巨摩郡早川町奈良田 | 地区名 | (主) 南アルプス公園線 (奈良田工区) | 事業主体 | 山梨県 |
|-----|---------------------------|------|------------|-----|----------------------|------|-----|
|-----|---------------------------|------|------------|-----|----------------------|------|-----|

(1) 事業の概要

①課題・背景

本路線は当該事業箇所の早川町奈良田と南アルプス市芦安芦倉地区を接続する道路計画 (仮) 早川芦安連絡道路が事業化されており、この道路計画により災害時には孤立集落化していた早川町において、避難路や緊急物資輸送路としての機能を有する重要な幹線道路となる。

当該区間は幅員が狭く自動車のすれ違いも難しいことから、早急に1.5車線整備 (待避所設置) を進める必要がある。

②整備目標・効果

□主要目標 〇災害に強い道路の確保

危険度: 落石等 要対策箇所 (26箇所)

損傷度: 通行止実績15回 > 2回 (過去三年間) 以上※

橋梁等損傷状況による要対策箇所なし

自動車交通量: 500台/12h (H27センサス) < 3,428台/12h以上※

緊急輸送道路の指定: なし

※ 評価基準値

□副次目標 〇市町村中心地、大規模拠点施設へのアクセス向上

道路改良率 48.6% (R4道路現況表) < 64%以下※

混雑時走行速度 45.8km/h (H27センサス) > 30km/h以下※

※ 評価基準値

□副次効果 〇重要プロジェクトとしての位置づけ (早川芦安連絡道路関連)

(3) 事業の妥当性評価

妥当 妥当でない

①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か)

〇

早川町と南アルプス市を結ぶ道路で地域の観光振興に寄与するなど、生活道路としての整備効果が期待されており、社会的受益は大きく極めて公共性が高い。

②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか)

〇

本路線は、道路法第15条の規定により県が行うべき事業である。

③経済妥当性

〇

部分改築 (1.5車線整備) であり、費用便益算出規定がないため不算出。

④事業実施・規模の妥当性

〇

交通の安全性、災害の防止及び景観の向上等を図るため、事業規模等は妥当である。

⑤整備手法の有効性

〇

規定の幅員を確保し、低コストな1.5車線整備を採用することで最も経済的な計画としている。

⑥環境負荷等への配慮

〇

県立南アルプス巨摩自然公園内のため自然公園条例に基づく手続きを行う。

⑦事業計画の熟度

〇

早川芦安連絡道路整備と共に、早期整備の要望を受けている。

総合評価

[貢献度ランク: a]

(2) 整備内容

①整備内容 道路改良 1.5車線整備 L=840m 待避所設置 N=17箇所

②着手年度 令和5年度

③完成見込年度 令和13年度

④総事業費 約900百万円

(国費495百万円(5.5/10) 県費405百万円(4.5/10))

⑤年度別の整備内容

(事業費)

令和5年度 設計・測量・地質調査 100 百万円

令和6年度 道路改良工事 L=80m 待避所設置 N=2箇所 180 百万円

令和7~13年度 設計・測量・地質調査 620 百万円

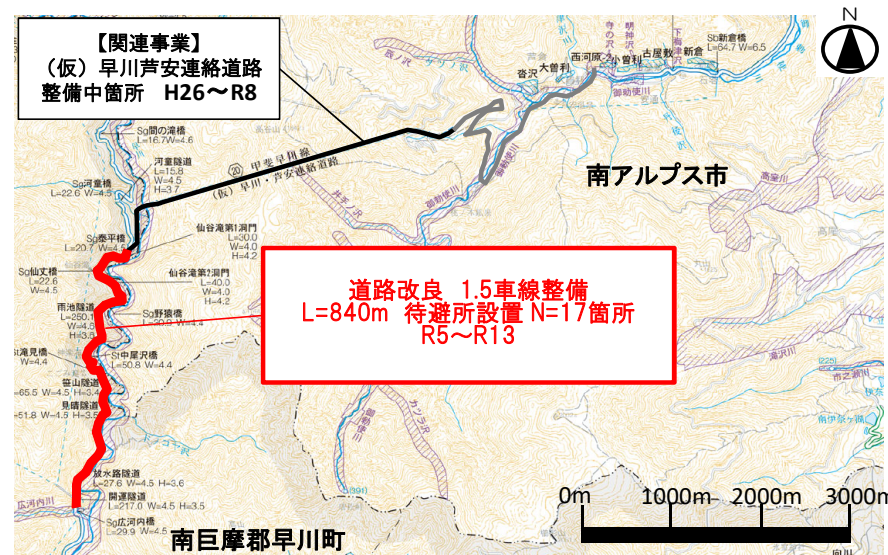
道路改良工事 L=760m 待避所設置 N=15箇所

※記載内容は見込みであり、確定したものではない。

⑥既整備内容・期間・事業費

なし

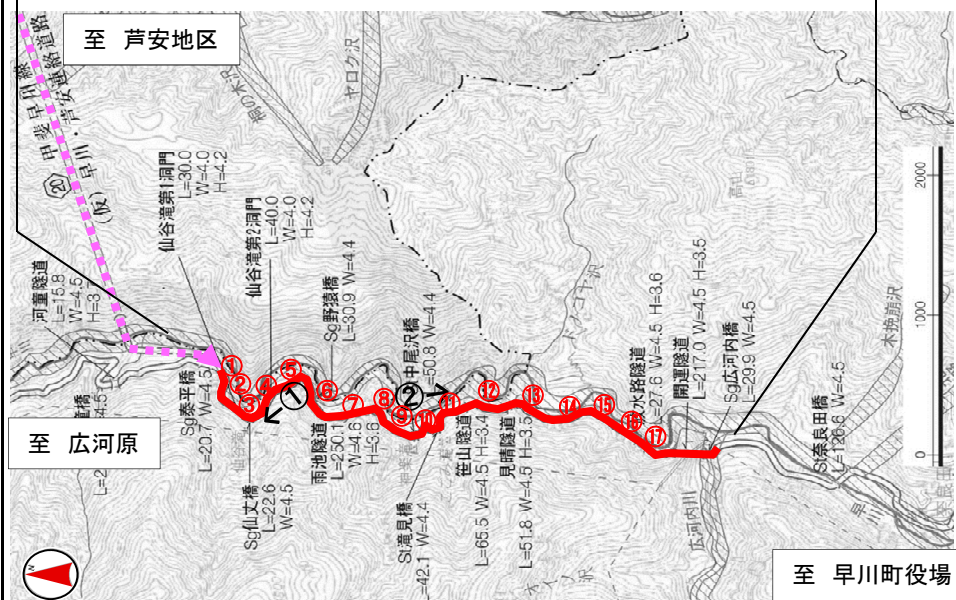
(4) 事業位置図等



## 2. 添付資料シート

【平面図】

今回事業評価箇所  
 道路改良 1.5車線整備 L=840m  
 待避所設置 N=17箇所  
 早川・芦安連絡道路接続箇所～広河内橋



【写真①】



連続する狭隘区間および対策斜面  
 (路側側に待避所設置)

【写真②】



トンネル坑口近辺における  
 視距確保のための待避所設置

【標準横断面図】

